

令和8年度富山県高等学校総合体育大会
兼 全国・北信越高等学校総合体育大会県予選会
バレーボール競技
実施要項

富山県高等学校体育連盟
バレーボール専門部
部長 藤田和彦

- 主催 富山県高等学校体育連盟
共催 富山県教育委員会・(公財)富山県スポーツ協会・富山県バレーボール協会
後援 富山市教育委員会・黒部市教育委員会・高岡市教育委員会
主管 富山県高体連バレーボール専門部
- 1 期 日 令和8年5月30日(土)・6月6日(土)・7日(日)
- 2 会 場 30日 男女 富山県総合体育センター(1・2回戦)
女子 高岡市竹平記念体育館(1・2回戦)
6日 男子 富山県総合体育センター(3回戦・準々決勝)
女子 黒部市総合体育センター(3回戦・準々決勝)
7日 男女 富山県総合体育センター(準決勝・決勝)
- 3 競技規則 令和8年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 4 競技方法 トーナメント方式・3セットマッチとする。
- 5 参加資格 (1)富山県高等学校総合体育大会開催基準要項に準ずる。
(2)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(3)選手は令和8年度富山県高体連に加盟している生徒で令和8年度(公財)日本バレーボール協会・富山県バレーボール協会に有効に登録され、大会参加資格を得たものに限る。
(4)選手の年齢は、平成19年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同学年での出場は1回限りとする。
(5)チーム編成においては、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6)合同チームを編成して大会に参加する場合は、「合同チームによる大会参加規定」を遵守すること。
(7)転校後の参加資格は、全国高校総体開催基準に準ずる。(外国人留学生もこれに準じる)
(8)選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- 6 参加制限 (1)チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。但し選手登録は18名以内で試合ごとに14名の選手名を提出する。
(2)監督は校長及び学校長が認めた専任教職員(教頭・教諭・助手・常勤講師・非常勤講師)とする。また、校長から委嘱された部活動指導員も可とする。
(3)コーチは、当該校の教職員(登録の必要なし)または、学校長が認める18歳以上の者(ただし高等学校在学中は認めない)でコーチ登録をした者に限る。

コーチ登録は所定の申請書を高体連専門部へ提出したものとす。マネージャーは当該校の教職員または生徒とす。

(4)監督・コーチ・マネージャーは、県協会倫理規定等に違反しているものは認めない。

(5)外国人留学生の参加は1チーム2名までとし、コート内にはそのうちの1名とする。

- 7 使用球 (公財)日本バレーボール協会公認人工皮革カラーボール
男子・・・ミカサV300W 女子・・・モルテンV5M5000
- 8 参加申込 期 日 5月8日(金) 必着(不参加の場合も送付下さい)
宛 先 富山高校 飯田 萌里 教諭 宛
Mail: iida-moeri@ed.pref.toyama.jp
※申込書(押印済み)データ、Excel ファイルと JVA の MRS 一覧を送付下さい。
- 9 参加料 1チーム 14,000円(手数料は各チームで負担)
振込先 北陸銀行小杉支店 普通 5042910
富山県高体連バレーボール専門部会計担当 林 香織
振込期間 4/24~5/8 厳守
- 10 表彰 3位までを表彰
- 11 代表者会議・ 期 日 令和8年5月13日(水) 14時30分
組合せ抽選会 場 所 富山県総合体育センター 大研修室
- 12 諸連絡 (1) 競技は9時30分開始とする。開館は8時00分とする。
(2) 選手変更等は大会1日目に所定の用紙に記入の上、競技部へ提出するものとし、それ以後の変更は認めない。
(3) この大会の男女優勝チームは、全国高等学校総合体育大会への出場権を得る。上位4チームは、北信越高等学校体育大会への出場権を得る。また、国スポ富山県選抜チーム選手選考大会を兼ねている。
(4) この大会の男女上位8チームを天皇杯・皇后杯全日本6人制バレーボール選手権大会県予選会へ推薦する。
(5) 参加申込書に、審判資格を有するものを監督・コーチ・マネージャー(生徒は除く)に登録しなければならない(帯同審判員制)。登録しない場合は、参加資格がないものとし、参加を認めない。登録がありながら、試合当日に会場に来られない場合も参加資格がないものとし、参加を認めない。また、試合当日に何らかの理由があり会場に来られない場合は、大会当日の第1試合までに競技部に連絡すれば、この限りではない。
(6) 選手の競技中の傷病に対する応急処置(医者による経費は自己負担)は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。